

### <白金標準、WPIC を機に 4593 円へ向けた回帰相場へ・・・>



(出所：オアシス)

WPIC 第 2 四半期 PGM 需給報告では、5 月に発表された第 1 四半期 PGM 需給報告で 2024 年の需給予想で 15 トンの供給不足が 31 トンの供給不足予想へ倍増するなど 2 年連続の供給不足は確実視される内容になっている。特に PGM 価格（パラジウム、ロジウム）の下落で南アフリカのプラチナ鉱山は、コスト割れに伴う収益悪化でリストラ策を実施しており、同国で 10000 人の鉱山労働者がリストラされている。また北米でもシバニースチールウォーターは、収益改善を狙ってプラチナ、パラジウムの生産量を最大 45%の削減を計画していると発表している。特にウクライナ問題で西側諸国の制裁を受けているロシアのノリリスク・ニッケルは、2 か所の精錬所のメンテナンスを実施しており、PGM 生産量は低下している。そのため今回の需給報告では、市場在庫が 2023 年の 125 トンから 93 トンまで減少すると予想されるなど、商品価格を占う上で需要より供給から価格を予想する事からも、2024 年は白金価格において見直しの時間帯であり、一時的に 4175 円で下げ止まった白金標準先物は、目先の高値 4593 円を超える動きに注目したいと思える。

#### <テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** は切り下げ、**シグナル** も切り下げている。RCI では**短期**は切り上げ、**長期**は下げている。また日足と **200 日移動平均線**の乖離が拡大するなど自律反発の動きに注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引1,340,000円(2024年9月17日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約10倍から70倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚あたり往復71,280円(2024年9月17日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話03-5540-8423(受付時間:平日8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>